



おやごころ

<http://www.yamaguchipta.jp/>

広報紙「おやごころ」100号に寄せて

広報紙「おやごころ」が39年の月日を経て、100号を迎えるにあたり、県PTAの先輩や、広報紙作りに関わられた皆様と共に喜びたいと思います。吉田松陰先生の言葉に、「親思う 心にまさる親ごころ」という言葉があります。どんなに親のことを子どもが思おうが、親が子どもを思う気持ちのほうが強い。今後も、そんな広報紙「おやごころ」を創り続けていきたいと思います。

山口県PTA連合会会長 富川 芳人

100号記念



「親心」の題名

本紙の題名の由来をご存知でしょうか？それはPTAの創始者であるアメリカのアリス・パニー女史の言葉に因んだものなのです。「この無力な幼児を健やかに導いていくものは誰なのか。それこそ私たち母親ではないか。この小さな命を産みだした母親たちよ。すべての子どもたちのしあわせのために、今こそ進んでその楯となろう。」この慈愛に満ちた親心が、アメリカ全土の母の会の結成となり、その後、父親や先生も加わってPTAの誕生となりました。私たちの親心も、パニー女史の祈りの心と変わるものではありません。（おやごころ第1号より一部抜粋）

☆ドリームチャレンジャー2011 in 德地



2011年8月6日(土)～8日(月)

8月6日より 県内各地から50数名の子どもたちと 20数名の学生スタッフ、そして私たち県Pスタッフで2泊3日の体験活動を行いました。

今年はグループ活動を中心にして、仲間と共に自然に触れる目的で、沢登り、天体観測、キャンプファイヤーなどのプログラムを学生スタッフ中心に企画運営し、大きな事故、怪我もなく終了したことを大変うれしく、また頼もしく思いました。閉会式で見た子どもたちの笑顔、そして仲間との別れを惜しむ涙にこの大会の成功を実感したとともに、体験することの必要性を改めて感じた3日間でした。

実行委員長 山本哲哉

山口国体に向けて“応援のぼり旗”の作成

山口国体に向けた応援のぼり旗の作成を宇部市内小学校の児童とPTAが学年活動などで取り組みました。

県が推進する「子ども国体県民運動」の一環で、縦1.8㍍、横0.6㍍、中央下部にメガホンを持つ“ちよるる”がデザインされた白地の旗に、全都道府県と東日本大震災被災地の選手へのメッセージを書きました。応援メッセージの他に県章や県花・県木・特産物などイラストを入れて、カラフルに仕上げました。



第59回 日P全国大会ひろしま大会 8月26日(金)～27日(土)

※大会参加者 全国8,300名(山口県402名)

全体会：広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)

分科会：広島県内10会場



乙武洋匡さんは障害を持つ自分にできる被災地支援は何か考えた時『自分にできることでいい』と原点に戻られ、また、原爆を投下された地、広島で育った原田真二さんは震災へ思いを馳せ熱唱!

復興にはどれだけの時間が…被災地の子供達の笑顔の為に会場の8000人が心を一つに『Believe』を合唱しました。

東日本大震災義援金のお礼と今後のお願い

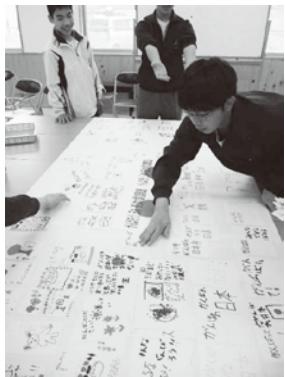
3月11日に発生しました大地震は、岩手県、宮城県、福島県を中心に、多くの被害をもたらせたことはご承知のとおりです。それに伴い皆様には義援金のお願いをいたしましたところ、246校のPTAより10,780,051円という大きな金額を集めることができました。3県のPTA連合会1市のPTA協議会に郵送をいたしました。

山口県PTA連合会では、直接現地の子どもたちのためになる今後の活動として、引き続き義援金活動を行っていきたいと思います。皆様にはご迷惑をおかけしますが、募金活動やバザー、書き損じはがきの換金、廃品回収などの収益の一部でもいただければ、今年度の事業の一つとして送り届けたいと考えています。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

東日本大震災義援金活動 大道小・中学校PTA

3月11日の東日本大震災は、予想もしない状況に言葉もありませんでした。大道小中PTAでは、4月に地域の運動会において「被災した子どもたちに届け！大道からの応援メッセージ あなたが笑うとわたくしもうれしい」というスローガンのもと、メッセージと義援金を集めました。これまでに積み重ねてきた大道小・中学校PTAの雰囲気(土壤)のおかげで多くのかたの賛同を得ることができました。

半年以上たった現在も被災地の過酷な状況は続いている。9月の小学校、中学校それぞれの運動会で、義援金のお願いをしました。PTA組織は、日頃は、挨拶程度のかかわりですが、学校行事やPTA活動時などを通して、つながりを積み重ねているのではないでしょうか。そういった常日頃のつながりの積み重ねが、今回のような有事の時に「やってみよう」につながり、「よし！やろう！」の力となると考えます。一見無駄に思える行事や活動が、つながりを生みその積み重ねが、イザという時の土台になると思います。



～「安全互助会」について～

PTA・青少年教育団体共済法の施行により、平成23年度から共済事業をPTAが自主運営できることとなりました。山口県PTA連合会も、来年度からの実施の予定で準備を進めているところでしたが、法の具体的な運用方法の研究や山口県PTA連合会の運営体制の準備を進めるうちに、いくつか解決しなければならない問題がわかつきました。このため、今後の進め方について会長の諮問委員会を設置し、先進地の状況を調査・研究し、また監督官庁との協議などを行い、2、3年以内を目指して事業の運営方法について結論を出すこととしました。

当面は、AIU保険会社に委託して事業を運営します。

PTA会員の補償制度

個人で加入

小学生・中学生総合保障制度

お子さまの24時間のケガ・賠償責任・育英費用持ち物への補償(学校管理下のみ)・熱中症・病気の補償

2011年度新設 「育英費用増額オプション」

扶養者の方が、事故で万一の場合や重度の後遺障害をおわれたときに、育英費用が増額されます。(Cプラン除く)

グレードアップ 「自転車保険セット」

今年度より、自転車保険が標準セットされ、自転車事故でのケガの補償が手厚くなります。(Cプラン除く)

新年度に各学校を通じて加入者を募集します。

各PTAが団体で加入

山口県PTA安全互助会

PTA行事の参加者(保護者・教師・児童・生徒・会員と生計を共にする同居の親族・登録されたボランティア参加者)の

ケガの補償・賠償責任の補償

各学校のPTAを通じてご請求ください。

○制度引受け保険会社:AIU保険会社

■問い合わせ先／山口県PTA連合会 ☎(083)925-6778

「たのしい子育てキャンペーン」

～親子で話そう！家族のきずな・我が家ルール～

昨年度に引き続き、家庭教育委員会の取り組みとして「たのしい子育てキャンペーン」～親子で話そう！家族のきずな・我が家ルール～三行詩募集を行いました。昨年度よりさらに多くの作品の応募があり、学校全体で取り組まれた4校につきましては感謝状を贈らせて頂きました。

また、岩国市の灘地区の灘小学校、中洋小学校、灘中学校では、地区的取り組みとして三行詩の審査、表彰が行われます。想像以上に三行詩がいろいろな形で広がりつつあり嬉しく思っています。今後も三行詩の取り組みを通して家庭、学校、地域のつながりが深まればと願っています。



▲昨年P3行詩コンクール佳作
豊浦小学校 中野和也



おうちでは さんすう こくごとおしえてくれる ぼくのせんせい おにいちゃん けんかもするけど やさしんだ！
山陽小野田市立須恵小学校1年 西岡 誠

会長賞 お母さんとケンカした。気がついたら「ごめんなさい」と言っていた。気がついたらケンカしたこと忘れてた。
下松市立久保中学校2年 村川 桃子

一度にしゃべるな！ひとりずつ いつまで続くか このおやじと話してくれる日々
宇部市立東岐波小学校 木村俊一朗

*学校賞 萩市立弥富小学校、周南市立船島小学校、美祢市立城原小学校、岩国市立中洋中学校

★第33回全国小・中学校PTA広報紙コンクール★



日本PTA全国協議会
レイアウト賞

●徳山小学校

何も分からぬまま始めた広報紙作りでしたが、一年間を通して心がけていたのは、いいものを丁寧に作りたいという想いでした。写真は、一枚で多くの事を伝えてくれます。納得のいく写真を撮る為に、メンバー全員でカメラを抱えて走り回りました。内容は、分かりやすさに気をつけ、デザインは、見て楽しめるものにし、写真と文字のバランスは、最後まで読んで頂けるように気配りました。

メンバーの多くは仕事を持つての活動でしたが、みんなで助け合う事の大切さを知りました。レイアウト賞というすばらしい賞を頂き、支えて下さった皆様方には、言葉では言い表せないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

周南市立徳山小学校PTA前広報部長 田中智子



日本PTA全国協議会
日本教育新聞社社長賞

●国府中学校

「この人たちと一緒にPTA活動がしたい」と思い、6年前に国府中学校のPTAの役員になりました。PTA活動の中心となるメンバーは、毎年少しずつ入れ替っていきますが、いつも楽しい人たちがいて、忙しくても文句も言わず？人のお世話を頑張っています。

今、どの保護者も心の余裕がなく、PTA活動どころではないかもしれません。でも「一緒に頑張って良かった。」と人から言ってもらえる経験は貴重です。このたび、国府中学校はたくさんの方から励ましの言葉をいただき、目標を達成できることに感謝しています。

あなたもPTA活動を続けてみませんか？絶対いいことがありますよ！

防府市立国府中学校PTA広報部長 浅村かほり

平成23年度 山口県PTA連合会 広報紙コンクール募集

山口県PTA連合会では、全県下学校のPTA広報紙の充実振興をはかるために、毎年コンクールを開催しております。

<あなたの学校のPTAもぜひ、エントリーを!!>

○応募方法○

- ・山口県PTA連合会に加入するPTAは自由に応募することができる。
- ・応募する広報紙は、平成23年度中に発行されたものを提出する。表紙等は不要。
- ・提出期限：平成24年3月31日（金）
- ・なお、応募作品は返却しません。
- ・賞の種類…山口県知事賞・県教育長賞・県PTA連合会長賞 ほか

平成23年度 山口県PTA連合会 犯罪・非行防止標語コンクール

<万引きは犯罪です!>

- ◇応募対象者 県内の小学生、中学生、PTA会員
- ◇応募締切日 平成23年12月15日（木） 当日必着
- ◇応募方法 ●応募はひとり一点。
- 提出方法は、メール、FAX、郵送でお願いします。
- 会長賞 3名……5千円分の図書カードを進呈（応募対象者各1名）
- 優秀賞 6名……3千円分の図書カードを進呈（応募対象者各2名）
- 優良賞 9名……千円分の図書カードを進呈（応募対象者各3名）
- 入選 若干名……500円分の図書カードを進呈

問合せ先
提出先

山口県PTA連合会 事務局

〒753-0072 山口市大手町2-18 県教育会館内 TEL: 083-925-6778 FAX: 083-925-3815
Mail: info@yamaguchipta.jp HP: http://yamaguchipta.jp/

詳しくは山口県PTA連合会ホームページをご覧下さい▶ 山口県PTA連合会

検索

昭和49年から発刊している県PTA広報紙「おやごころ」100号を記念して、通常の2倍のボリュームで本号は作成しました。山口県に関心！感動！感謝！を掲載できるようなマップになっています。さらに、山口県クイズを企画してみました。ささやかですが景品も用意しましたので皆さん多数の応募と感想をお願いします。当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。

こんな
知つちよる？

山口県クイズ



◆第1問 情報収集の大切さを表す松陰先生の言葉はどうでしょう？

①馬耳東風

②飛耳長目

③岡目八目

◆第2問 山口県の花は何でしょう？

①夏みかんの花

②なしの花

③りんごの花

◆第3問 山口の方言「はー、そこまでお神輿が来ちよるけえ」の「来ちよる」を標準語にするとどれでしょう？

①来ている

②来ていない

③行ってしまった

◆第4問 日本大学や国学院大学を創立したのはだれでしょう？

①成瀬仁蔵

②大村益次郎

③山田顕義

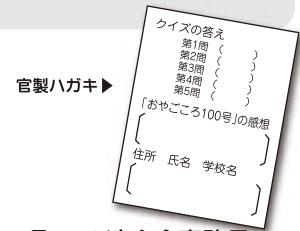
◆第5問 現在、新幹線のぞみ号が、新山口駅～東京駅間を結ぶ時間はどれでしょう？

①およそ3時間30分 ②およそ4時間30分 ③およそ5時間30分

●応募方法

クイズの答えの番号をハガキに記入し、「おやごころ100号」の感想、住所、氏名、学校名を記入の上、下記PTA連合会事務局へお送り下さい。

抽選で若干名の方へ
図書カード等ステキな
プレゼントを差し上げます。



山口県PTA連合会事務局

〒753-0072

山口市大手町2-18 県教育会館内

締切：23年12月22日当日消印有効

12月23日以降、回答をHPに載せます。



○幸せる

幸いに存する。〔例〕「〇〇していただければ幸せます」(〇〇していただければ幸いです。)

○はぶてる

「落ち込んで塞ぐ」「機嫌が悪い」という意味で使われる言葉。またそのような人を「はぶて」と呼ぶ。

○やねこい

「うつとうしい」「面倒くさい」の意味。「やねけーことになったのー(面倒くさいことになったなあ)」

○えらい

「疲れた～、だるい」という状態を表す「ぶちえらかった(すごく疲れた)」

○しろしい

「うるさい、騒がしい」という時に使う言葉

○こそばい

「くすぐったい」の意味「そこを触ったうこそばいっちや(そこを触ったらくすぐったい)」

○たいぎい

「面倒くさい」という意味「外出るんも、たいぎいのー(外に出るのも、面倒くさい)」

○じら

知らんかったら
「はがいい」から知っちょっとよ。
(はがいい = 悔しい)

これ方言なんよ
知つちよった?

編集後記

すばらしい仲間と記念すべき100号を作成することができ、最高に幸せな経験をすることができました。12年のPTA最後の年にこのような発信ができるとは、想像していませんでした。

インターネットの普及で、広報紙の意義も問われていますが、この100号を子どもから親に手渡されそこで会話が生まれ、マップが壁に飾られる、マップを親子で語り、元気PTAに参加！そんな夢を広報紙に載せました。

竹谷和彦（広報委員会 委員長）

今回マップを作るにあたり、県内のいろんな情報を調べる機会を得たことで僕自身、『ふるさと山口の良さ』を再認識しちゃいました。…記念すべき100号の編集に携われたことも、いい思い出で～す♪

金田盛助

おやごころ100号記念号発行にあたり、広報部員として発案の段階から楽しく取り組ませていただきました。協力して頂いた皆様への感謝の気持ちと、発行の日が待ち遠しい気持ちでいっぱいです。

田中小百合

おやごころの制作に携わり大変でしたが、山口県の素晴らしさを再発見でき、とても楽しかったです。この広報紙を親子で楽しく見てもらえた嬉しさです。

岡田真由美

初めての広報委員活動で記念すべき100号の発刊！！

まさに大当たりの年に広報委員として楽しませていただきました。

皆さんにも誌面を見て楽しんでいただけると嬉しいです♪

加藤美智子

念ずれば花ひらく

この度、記念すべき「おやごころ100号」の編集作業をさせていただこうに、昭和49年発行の1号から平成23年発行の99号までを拝見し、諸先輩方々の「念い(おもい)」を感じさせていただきました。それは、不連続の連続による伝承であり、まさに、「ペイフォワード(次へ渡そう)作戦」であったと思いました。

創刊当初、山口県内他校の活動を知る上で唯一の情報伝達手段であった広報紙は、現在、その手段の一つとなりつつありますので、HPとの連携(クロスマディア作戦)を取り組みました。しかしながら、すべてのご家庭に共通の情報を伝えするためには、まだまだ紙媒体である「おやごころ」の役割は重要ではないかと思っています。

「おやごころ」を通じて

山口県PTA連合会にご興味を持っていただき、101号へ「ペイフォワード」すべく工夫をしたつもりです。

是非とも、皆様の間で、「おやごころ」を話題にしていただき、温かいご感想をお寄せいただければ幸せます。

編集長 奥谷祐司
(広報委員会副委員長)



親心1号が発行されたころに活躍していたマツダオート三輪に乗る編集委員

